

「保健医療科学」 第59巻 第1号 予告

特集：社会的共通資本としてのヘルスケアシステム（仮題）

社会的共通資本の概念と地域医療システム（仮題）	南部鶴彦
社会的共通資本としての医療情報システム（仮題）	橋本英樹
社会的共通資本としての統計情報（仮題）	井伊雅子
仮想市場法による地域医療システムの価値評価（仮題）	熊川寿郎
ヘドニックアプローチによる地域医療システムの価値評価（仮題）	菅原琢磨
地域医療システムにおけるアクセシビリティ（仮題）	佐藤栄治

編 集 後 記

2009年11月17日、行政刷新会議による国立保健医療科学院（以下、科学院）の養成訓練及び試験研究に必要な経費について「事業仕分け」が行われた。その結果、「見直しを行う」とWGの評価結果が示された。そこにはとりまとめコメントとして、科学院の「研究部等の再編による業務・組織のスリム化・見直しを」、「研修事業の抜本的見直しによる経費の削減を」等のきびしいコメントがつけられていた。しかし事業仕分けを行った仕分け人9人の評価を個別にみると、誰一人として科学院の機能を「廃止する」あるいは「自治体／民間に移す」が妥当とは判断していない。「国民の健康・安全にかかわる研究・研修」を国の役割として担う、これまでの科学院の活動に対し一定の理解と評価が得られた結果と思われた。同時に、科学院に対する機関存在意義が、事業見直しという政治的政策的判断の場においてもその必要性和共に認められたと感じた。「国民の健康と暮らしを『安全に』守る」という公衆衛生のパラダイムシフトを支える基盤を、今後いかに効率的・効果的かつ実践的に形成していくか、国の公的セクターとして果たさなければならない役割が今改めて問われていると言えるのではないかと。

科学院の研修において大きな部分を占めるのが、地方公共団体で直接国民と向き合う地域保健活動に携わる人々への研修である。今号では、「地域保健活動における評価の現状と課題」という特集を企画した。

今日の多様化し財政的にきびしい社会情勢のなかで、地域保健活動にも、より効果的・効率的な実践が求められている。住民のためにどのような実践が最も費用が少なく、より健康で安全な生活を確保することに役立つのかを見極め、それを「Plan-Do-Check-Action」のサイクルに組み込みポジティブなスパイラルを描くような地域保健活動。より効果的・効率的な地域保健活動実践の実現には、このような地域保健活動をささえる評価ができる専門性が不可欠である。評価をはじめとする一連の過程を科学的に行い、人材育成基盤の充実、およびそれを支える研究は、まさに科学院の役割そのものであるといえるだろう。

（橘とも子）

「保健医療科学」投稿規程

1. 投稿論文

公衆衛生および社会福祉の向上，普及に資する研究，および活動報告とし，「保健医療科学」編集委員会が掲載内容を決定する。ただし，他誌に発表（予定も含む）された論文は掲載しないものとし，多重投稿を禁ずる。また，原稿は随時受け付ける。

2. 原稿の種類，内容及び制限頁数

査読つきのもの

総説 (Reviews)

関連領域の調査，研究，活動，政策動向，進歩，課題，展望などについて参考文献を付して総括的に解説するもの [12頁以内]

原著 (Original Articles)

独創的な研究にもとづく新知見を含む論文 [10頁以内]

ノート (Notes)

速報など，原著に比べて簡潔で若干の新知見を含むもの [5頁以内]

資料 (Research Data)

調査または統計などをまとめたもの [8頁以内]

報告 (Reports)

国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践，教育，研究などの報告 [5頁以内]

論壇 (Commentaries)

公衆衛生および社会福祉の活動，政策，動向などについての提案，提言 [5頁以内]

査読のつかないもの

レター (Letters)

掲載論文に対する意見や国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践の報告で時宜を得たものなど [2頁以内]

書評 (Book Reviews)

公衆衛生および社会福祉に関する図書などの紹介 [1頁以内]

* 刷り上り1頁は2,600字，英語の場合は850wordsを基本とし，2段組のレイアウトとする。

なお，編集委員会の判断で，制限頁数を超えた原稿の掲載を認めることがある。

3. 特集について

編集委員会は，各号ごとにテーマを設け，特集を組む。特集の原稿は，専門家への依頼，または，一定の告知期間を設けた投稿募集によるものとする。

4. 発行頻度

年4回発行し，必要に応じて補冊 (Supplement) を発行する。

5. 投稿方法

原稿は電子メールに添付して送信するか，原稿を保存した電子メディアを郵送する。

- ・ 投稿申込書 (<http://www.niph.go.jp/toshokan/hokeniriyokagakutokomoshikomi041018.htm>)
- ・ 本文 (原則としてWord形式で作成すること)
- ・ 図表 (必要に応じて)
- ・ 英文抄録

なお，執筆要領については別に定める。

(<http://www.niph.go.jp/toshokan/shippitsuyoryo041021.pdf>)

6. 原稿の審査

投稿論文の採否は，複数の専門家による査読の結果に基づき，編集委員会にて決定する。(図「投稿論文査読の流れ」参照)

「特集」については、特集担当委員、または、その指名する査読者が査読を行う。

7. 論文掲載料・別刷り

論文掲載は無料であるが、掲載論文の投稿者のうち希望者は有料で別刷りを作成することができる（50部単位）。

8. 校正

著者校正は初校までとし、脱落、誤植などの校正とする。原文および図表等の大幅な訂正などは認めない。

9. 著作権およびホームページへの掲載

本誌の著作権は本院に属する。なお、他誌などにその全部または一部を使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする。本誌に掲載された論文は、全文を電子化し、国立保健医療科学院のホームページに掲載する。

10. 投稿先

「保健医療科学」編集委員会事務局

e-mail: jniph@niph.go.jp

〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6

TEL. 048-458-6213 FAX. 048-469-0326

（平成21年 6 月18日改訂）